

2024年12月定例県議会 補正予算資料

防災拠点校への空調設備設置の前倒し

概要

長期の避難生活においても、熱中症等の危険性がない安心・安全な環境を確保するため、防災拠点校*10校の体育館の空調設備設計を前倒し、早期に着手する。

*備蓄倉庫、太陽光発電、自家発電装置等を備えた学校。
全ての防災拠点校に自家発電装置が整備されており、停電時でも空調稼働が可能。

設置計画

防災拠点校36校の空調設置スケジュール(予定)

区分		R5	R6	R7	R8以降
当初計画	設計	7	7	7	22
	工事		7		22
前倒し	設計	7	7+10	12	12
	工事	7	7+10		

※R7未統廃合予定の拠点校1校を除く

今回提案分

前倒し

効果

令和7年度末までに防災拠点校10校の体育館へ空調設備を設置
災害時における避難所としての生活環境を改善

物価高騰への対策・闇バイト防止対策について大野知事へ緊急要望

2024年12月16日、埼玉県議会公明党議員団は「物価高騰への対策に関する要望」及び「闇バイト犯罪の抑止に関する要望」を大野知事に申し入れました。物価高騰への対策では、政府が決定した「重点支援地方交付金」を効果的に活用し、物価高から県民の生活を守り、経済の確実な回復を実現するための政策を要望。闇バイト犯罪の抑止については、対策の強化や犯罪対策の充実を求めました。



「物価高騰への対策に関する要望」(抜粋)

- ・低所得世帯への給付金の迅速化
- ・低所得者LPガス利用者への支援
- ・医療機関や福祉施設等の食材費と光熱費への支援
- ・中小企業や小規模事業者におけるエネルギー価格高騰への支援及び省エネ推進の支援策
- ・物流や地域公共交通機関等におけるエネルギー価格高騰への支援

「闇バイト犯罪の抑止に関する要望」(抜粋)

- ・若者を守るための闇バイト対策と啓発の強化
- ・教育現場での注意喚起の徹底
- ・犯罪対策の充実

AYA世代終末在宅療養支援事業が新しくできました！

15歳～39歳の方をAYA世代といいます。この世代のがん患者の方が年間2万人と国立がん研究センターで示されています。

40歳以上の方は介護保険制度の特定疾患にがんが追加され介護サービスを利用しながら在宅療養が可能です。

18歳未満は小児慢性特定疾病医療費助成制度の対象となります。

AYA世代がん患者の大半はちょうど制度の狭間であり在宅療養を支援する体制が

整っていませんでした。

議会で指摘をし、今年、AYA世代も終末期がん患者が自宅で安心して療養生活が送れるよう生活支援費用の助成が予算計上されました。（※市町村が実施する助成事業に対する補助）



全国初

高齢ドライバー講習の専門施設を整備

高齢者講習は教習所や免許センターで実施されていますが、さいたま市岩槻区で講習のための専用施設を整備しました。専用は全国初となります。（5月24日開所式）

そしてその中で訴えてきました最新の体験型機器をこの度導入します。

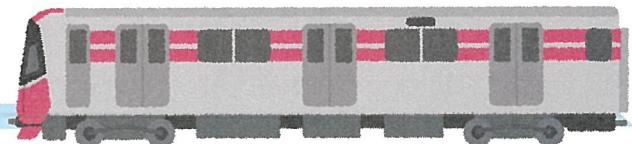
歩行者シミュレーターや自転車シミュレーター、ドライブチェック等などです。

高齢者の免許返納を促す一方で生活上、車がどうしても必要な方がいらっしゃるのも事実です。

専門施設では、実践的な研修を通じて高齢者の運転能力を維持・改善を目的とします。



地下鉄12号線の延伸へ向けて



知事に対しても、市とも共同しながら延伸の条件をクリアする大きな構想案の策定を県と一緒に進めていくたいと質問をいたしました。

所付近へのスマートインターチェンジの新設、物流事業者の誘致、商業施設の整備、大学の誘致など大きな可能性があるエリアと確信しています。

認可条件の一つとしては事業費に見合う整備効果が30年間で得られるかどうかというB/Cの考え方があります。人口減少の時代に入りただ利便性だけでは延伸や新設の要望をしても国は認可しない方針のようです。